

LGBTの取り組みを評価する「PRIDE指標2019」 「ゴールド」を住宅メーカーで初めて2年連続受賞

積水ハウス株式会社は、10月11日、LGBTに関する取り組みを評価する「PRIDE指標2019」において、最高評価の「ゴールド」を住宅メーカーで初めて2年連続で受賞しました。

- PRIDE指標最高評価の「ゴールド」を住宅メーカーで初めて2年連続受賞
- 「異性事実婚・同性パートナー人事登録制度」を新設し、異性婚と概ね同等の処遇に

work with Pride



「PRIDE指標」とは、任意団体「work with Pride」が、2016年に日本初の職場におけるLGBTなどのセクシュアル・マイノリティへの取り組みの評価指標として策定したものです。

当社は「『わが家』を世界一幸せな場所に作る」というビジョンを掲げています。そして、お客様に幸せを提供する従業員も幸せであるべきという考えのもと、積水ハウスを世界一幸せな会社にするため、さまざまな人事制度や福利厚生制度を整えてきました。

当社はLGBTに関する取り組みとして、グループ会社も含めた全従業員の必須の人権研修（ヒューマンリレーション研修）内で、LGBTに関する情報提供を2014年から毎年実施してきました。またLGBT専門の相談窓口も設けています。さらに2019年11月1日からは、配偶者と同等の関係にある異性事実婚や同性パートナーにも異性婚の配偶者と同様に社内規則や福利厚生制度の適用を行う「異性事実婚・同性パートナー人事登録制度」を新設し、運用を開始いたします（※9月1日から個別に相談受付を開始）。これらの継続的な取り組みが総合的に評価され、ゴールド受賞につながりました。

積水ハウスは「人間愛」を企業理念の根本哲学とし、全ての多様な人材が活躍できる働き方改革を推進しています。今後も、世の中に先んじたダイバーシティ経営を推進し、ESG経営のリーディングカンパニーを目指してまいります。

■ 積水ハウスのダイバーシティの取り組みはこちら

<http://www.sekisuihouse.co.jp/company/diversity/>